



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
コード番号 4046 URL <https://www.osaka-soda.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 寺田 健志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 今村 徹 TEL 06-6110-1560
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	24,284	0.7	3,939	19.0	4,446	9.4	3,047	9.4
2025年3月期第1四半期	24,114	4.0	3,309	17.9	4,065	16.0	2,785	15.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 3,283百万円 (△13.6%) 2025年3月期第1四半期 3,799百万円 (△16.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	24.22	—
2025年3月期第1四半期	21.96	—

(注) 当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	153,236	117,272	76.5
2025年3月期	153,935	115,596	75.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 117,270百万円 2025年3月期 115,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	10.00	—
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期第2四半期末の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年3月期の期末配当金については当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の期末配当金は50円、年間配当金は95円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	50,200	0.1	8,000	14.8	8,500	18.3	5,700	17.1	45.20
通期	102,000	5.8	17,000	28.3	18,100	27.9	12,300	19.0	97.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	133,660,085株	2025年3月期	133,660,085株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	7,804,679株	2025年3月期	7,804,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	125,855,505株	2025年3月期1Q	126,865,251株

（注）当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算出しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、個人消費や設備投資の持ち直しの動きなど緩やかな回復が続きました。一方で、米国の関税措置の影響、中国経済の停滞、物価上昇の継続等景気の下振れリスクは高まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画「Shape the Future-2025」（2023年～2025年度）の最終年度を迎え、「既存事業の継続的基盤強化」、「新製品創出力の強化」、「サステナビリティ経営の推進」の3つの基本方針に沿った具体的な施策を着実に実行してまいりました。

「既存事業の継続的基盤強化」においては、安定的なキャッシュ創出と成長分野への積極的な投資を通じて、事業基盤の拡充を図ってまいりました。基礎化学品事業では、原価低減に取り組むとともに、積極的に拡販を進め収益改善に努めました。引き続き、生産効率の向上を目的とした設備更新投資やコスト削減に取り組み、安定的に収益を生み出せるように事業基盤の強化を図ってまいります。機能化学品事業では、既存顧客への拡販活動や新規開拓を推進し、販売を伸ばすことができました。ヘルスケア事業では、糖尿病治療薬や肥満治療薬向けの医薬品精製材料の需要が引き続き拡大しており、販売数量は順調に伸長しております。2024年9月に完工した松山工場の新設備は、当初計画から前倒しとなる2025年7月より営業生産を開始しており、尼崎工場の増強工事も約1年前倒しとなる2025年9月の完工を予定しております。次期増産計画についても、2025年内の投資決定に向けて詳細検討を進めております。

「新製品創出力の強化」においては、NEDOのグリーンイノベーション基金事業として採択された全固体電池用超高イオン伝導性ポリマーなど次世代蓄電池向け材料の開発が着実に進捗しております。量産体制の確立に向けて、今年度中のパイロット設備の建設を検討しております。植物性乳酸菌OS-1010については、肌の弾力維持機能に続いて、認知機能の維持等に関するヒト試験を開始し、また、販売網の構築にも取り組みました。

「サステナビリティ経営の推進」においては、ESG開示に関する取り組み方針を見直し、ESGスコアを改善させました。機関投資家との対話の機会を拡充し、対話を通じて得られた意見を踏まえながら、資本効率の向上や累進配当を導入するなど株主還元の充実にも取り組んでおります。また、人的資本への投資の一環として業務改革活動の浸透による人材育成を図るとともに、働きやすい職場環境づくりや従業員エンゲージメントの向上を図るため、本社移転（2025年8月）を実施いたします。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、242億8千4百万円と前年同期比0.7%の増加となりました。利益面におきましても、営業利益は39億3千9百万円と前年同期比19.0%の増加、経常利益は44億4千6百万円と前年同期比9.4%の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億4千7百万円と前年同期比9.4%の増加となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

<基礎化学品>

クロール・アルカリは、水島工場の製造設備不具合による供給問題が解消されたことで販売数量が増加したため、売上高は増加しました。

エピクロルヒドリンは、供給問題の解消による販売数量の増加に加え、海外市況の改善により、売上高は増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は96億4百万円と前年同期比6.0%の増加となりました。

<機能化学品>

合成ゴムでは、アクリルゴムは昨年のデボトル工事完工により生産能力を増強したことで、売上高は増加しましたが、エピクロルヒドリンゴムは欧州等における自動車生産台数減少の影響を受け、売上高は減少しました。

合成樹脂では、ダップ樹脂は欧州でUVインキ需要が増加したことに加え、ダップモノマーは米国において競合品からの置き換えを進めたことにより、売上高は増加しました。

アリルエーテル類では、塗料用途を中心としたシランカップリング剤需要の低迷に加え、中国市況の軟化により、売上高は減少しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は70億4千4百万円と前年同期比9.7%の減少となりました。

<ヘルスケア>

医薬品精製材料は、糖尿病治療薬や肥満治療薬向けの需要が順調に拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、筋疾患治療薬原薬および抗がん剤中間体の販売が拡大しましたが、糖尿病合併症治療薬中間体や認知症治療薬中間体の販売が減少したため、売上高は減少しました。

以上の結果、ヘルスケアの売上高は30億5千6百万円と前年同期比23.6%の増加となりました。

< 商社部門ほか >

生活関連商品は販売が堅調に推移したため売上高は増加しましたが、ガラス繊維は電子材料向けの需要が弱含みで推移したため、売上高は減少しました。

以上の結果、商社部門ほかの売上高は45億7千8百万円と前年同期比4.2%の減少となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.9%減少し920億7千1百万円となりました。これは、主として現金及び預金が29億1千9百万円減少し、電子記録債権が15億4千5百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、0.2%増加し611億6千5百万円となりました。これは、主として建設仮勘定が3億3千4百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、0.5%減少し1,532億3千6百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、7.9%減少し289億1千1百万円となりました。これは、主として未払法人税等が17億6千9百万円、賞与引当金が4億7千5百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、1.4%増加し70億5千2百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が2億1千2百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて、6.2%減少し359億6千3百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、1.5%増加し1,172億7千2百万円となりました。これは主として、利益剰余金が17億8千9百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期（累計）および通期の業績予想につきましては、2025年5月9日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,339	13,419
受取手形、売掛金及び契約資産	25,742	26,151
電子記録債権	4,576	6,122
有価証券	26,974	26,971
商品及び製品	9,817	10,389
仕掛品	2,280	2,725
原材料及び貯蔵品	5,707	4,644
その他	1,496	1,667
貸倒引当金	△19	△21
流動資産合計	92,916	92,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,490	9,367
機械装置及び運搬具（純額）	14,675	14,328
土地	2,246	2,246
リース資産（純額）	531	508
建設仮勘定	1,979	2,313
その他（純額）	371	360
有形固定資産合計	29,295	29,124
無形固定資産		
のれん	118	106
ソフトウェア	82	72
その他	1,320	1,715
無形固定資産合計	1,521	1,894
投資その他の資産		
投資有価証券	28,510	28,528
長期貸付金	9	8
繰延税金資産	715	631
その他	1,544	1,554
貸倒引当金	△578	△577
投資その他の資産合計	30,201	30,146
固定資産合計	61,018	61,165
資産合計	153,935	153,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,117	13,336
短期借入金	7,172	7,172
未払法人税等	2,947	1,177
賞与引当金	953	478
1年内返済予定の長期借入金	76	72
その他	7,119	6,674
流動負債合計	31,385	28,911
固定負債		
長期借入金	387	365
リース債務	675	624
繰延税金負債	3,973	4,186
退職給付に係る負債	1,207	1,166
資産除去債務	557	558
その他	150	150
固定負債合計	6,953	7,052
負債合計	38,339	35,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,871	15,871
資本剰余金	17,020	17,020
利益剰余金	76,151	77,940
自己株式	△6,410	△6,410
株主資本合計	102,633	104,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,316	11,323
繰延ヘッジ損益	△56	△78
為替換算調整勘定	1,026	939
退職給付に係る調整累計額	671	662
その他の包括利益累計額合計	12,957	12,846
非支配株主持分	4	2
純資産合計	115,596	117,272
負債純資産合計	153,935	153,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	24,114	24,284
売上原価	17,107	16,501
売上総利益	7,007	7,782
販売費及び一般管理費	3,697	3,842
営業利益	3,309	3,939
営業外収益		
受取利息	11	42
受取配当金	407	580
持分法による投資利益	4	5
為替差益	374	—
補助金収入	37	56
その他	40	47
営業外収益合計	875	731
営業外費用		
支払利息	28	45
為替差損	—	167
その他	91	12
営業外費用合計	119	225
経常利益	4,065	4,446
特別損失		
固定資産除却損	36	48
特別損失合計	36	48
税金等調整前四半期純利益	4,028	4,397
法人税、住民税及び事業税	1,029	1,050
法人税等調整額	214	299
法人税等合計	1,244	1,350
四半期純利益	2,783	3,047
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,785	3,047

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,783	3,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	902	7
繰延ヘッジ損益	37	△22
為替換算調整勘定	66	267
退職給付に係る調整額	△3	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△7
その他の包括利益合計	1,015	236
四半期包括利益	3,799	3,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,798	3,285
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	932百万円	1,023百万円
のれんの償却額	11百万円	11百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	8,488	2,208	777	3,988	15,462	—	15,462
中国	—	2,082	261	613	2,958	—	2,958
アジア	400	1,495	282	73	2,252	—	2,252
欧州	87	1,138	958	102	2,287	—	2,287
その他地域	85	873	192	1	1,154	—	1,154
顧客との契約 から生じる収益	9,062	7,799	2,472	4,779	24,114	—	24,114
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,062	7,799	2,472	4,779	24,114	—	24,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	189	—	922	1,112	△1,112	—
計	9,062	7,988	2,472	5,702	25,226	△1,112	24,114
セグメント利益	489	1,349	1,499	299	3,638	△328	3,309

(注) 1 セグメント利益の調整額△328百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	8,441	1,935	697	4,153	15,228	—	15,228
中国	—	2,233	435	283	2,951	—	2,951
アジア	827	1,255	788	85	2,957	—	2,957
欧州	167	909	861	48	1,987	—	1,987
その他地域	168	711	272	6	1,159	—	1,159
顧客との契約 から生じる収益	9,604	7,044	3,056	4,578	24,284	—	24,284
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,604	7,044	3,056	4,578	24,284	—	24,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	207	—	921	1,131	△1,131	—
計	9,607	7,252	3,056	5,499	25,415	△1,131	24,284
セグメント利益	1,232	1,042	1,676	323	4,275	△335	3,939

(注) 1 セグメント利益の調整額△335百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。